

取扱説明書

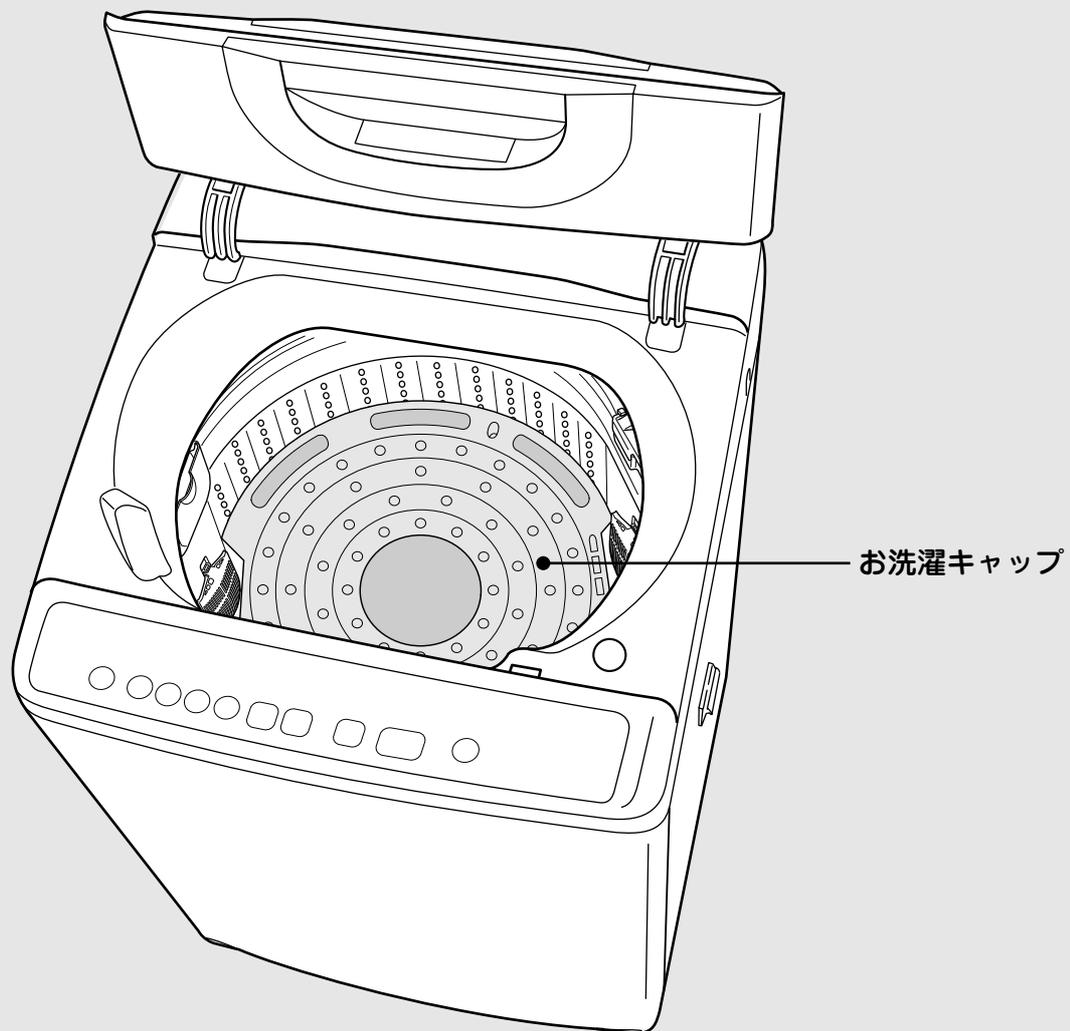
日立全自動電気洗濯機用

お洗濯キャップ

MO-F77

このたびはお洗濯キャップをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お洗濯キャップを使って上手にお洗濯！



（この取扱説明書は、NW-7GY型全自動電気洗濯機を中心に説明しています。
ほかの機種をご使用の場合は、付属されている取扱説明書と合わせてお読みください。）

洗濯物の準備

⚠ 注意



お洗濯キャップは正しく取り付ける

●お洗濯キャップの飛び出しによりけがをしたり、本体が破損する恐れがあります。

お洗濯キャップ取り付け時には、洗濯物を本体にはさみ込まない

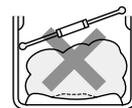
●洗濯物を傷めたり、本体を破損する恐れがあります。

お洗濯キャップは斜めに取り付けない。

また、「ふとん」「ドライ」コース以外では使用しない

●水の飛びはねやお洗濯キャップの飛び出しによりけがをしたり、本体が破損する恐れがあります。

●「ふとん」「ドライ」コース以外では、かくはん翼が回るため、お洗濯キャップが外れる恐れがあります。



洗濯できる掛ふとん、大物など

■洗濯できる掛ふとん

●中わた材質が化繊（ポリエステル）のふとん

掛ふとん(シングルサイズ 幅150cm×長さ210cm以下、中わた質量1.8kg以下のもの)

肌掛ふとん(ダブルサイズ 幅190cm×長さ210cm以下、中わた質量1.8kg以下のもの)

●中わた材質が羽毛の掛ふとんで 、 表示のあるもの

(例：肌掛ふとん 中わた質量0.5kgなど)

ご注意

●中わた材質が羊毛のものや、カバー材質が絹のものは洗わないでください。

1.8kg以下



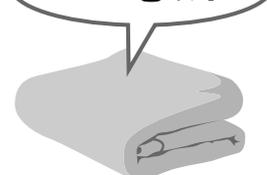
■洗濯できる毛布

● と表示されている毛布。

●アクリル、またはポリエステルのダブルサイズのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布（幅180cm×長さ230cm以下、1枚の重さが4.2kg以下）

●電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。

4.2kg以下



■その他洗濯できるもの

● 表示のベッドパット、カーテン

● 表示のまくら、クッション（中わたが化繊(ポリエステル)のもの)



掛ふとん・毛布の入れかた

1

掛ふとん、毛布の角から、洗濯・脱水槽に少しずつ入れます。



2

掛ふとんは中わたの空気を追い出すように、少しずつ入れます。



洗濯できるドライマーク付き衣類

衣類の取扱絵表示

 表示があるもの
 表示があるもの



1.2kg以下

- セーター、カーディガン(ウール、アンゴラ、カシミアなど)
- スラックス、スカート
- ブラウス、シャツ、ワンピース(絹、麻など)
- 学生服、セーラー服

※  表示があっても、洗えないものがあります。 → P.10

ご注意

- 上記以外の衣類については、衣類の取扱絵表示や洗剤の表示に従ってください。

衣類の前処理

- しみやひどい汚れは早めに処理してください。
時間がたつと落ちにくくなりますので、お洗濯前に部分洗いなどで処理をしておくことより効果的です。
- ボタンやししゅうがついている衣類は裏返しします。
- ボタンやファスナーは閉めてください。

色落ちの確認

- 色落ちしそうな衣類は、あらかじめ、色落ちの確認をしてください。白いタオルなどに洗剤液を含ませ、衣類の目立たない部分に強く押し当ててタオルに色移りしないか確認してください。
色落ちがあった場合は、お洗濯しないでください。
- 色落ちしやすい衣類(スカーフ、外国製の衣類など)は、十分に注意してください。

脂汚れ、しみなどを落ちやすくする

えり、そで口などの脂汚れ

- えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液をつけて、ブラシで一定方向にこすってください。



しみ

- 裏にタオルを当て、洗剤の原液をつけてブラシなどで軽くたたいて落します。



洗濯後、縮みが大きくなった場合のことを考えて、元の形に修正するために型紙を取っておくと便利です。

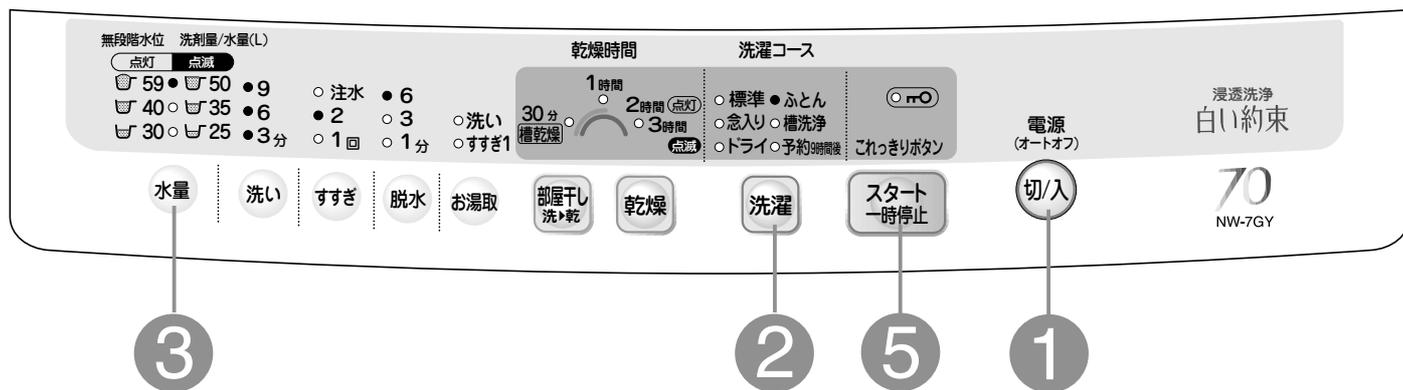
しみの抜きかたワンポイント

- 万一、衣類にしみがついた場合は、「3倍程度の洗濯液でつけ置き洗い」をしてください。
※上記対応でしみが抜けないときは、下記のように市販の漂白剤をご使用ください。
- 漂白剤は、酸化型と還元型とに分けられ、さらに酸化型は塩素系と酸素系に分けられます。各々、下記のような特徴があり、使えるものと使えないものがありますので、ご使用前に漂白剤の容器に表示してある注意書きをよくご覧になり、正しくご使用ください。
 - ・酸化型
 - (1)塩素系(ハイター)：漂白力、殺菌力はもっとも強いのですが、色物や毛・絹には使えません。
 - (2)酸素系(ワイドハイター、カラーブライト)：色・柄物に使えますが、粉末の場合は毛・絹には使えません。
 - ・還元型(ハイドロハイター)
水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、塩素系漂白剤のためにワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。

使用する洗剤について

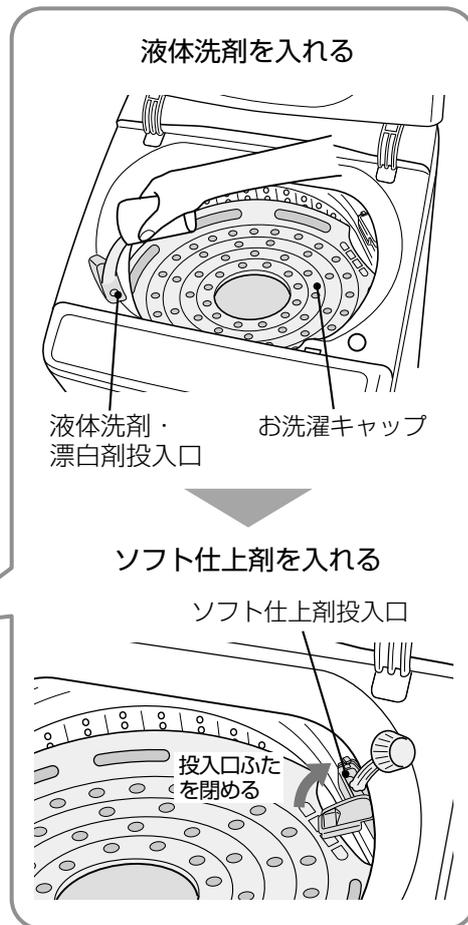
- 衣類の取扱絵表示が  表示のものは、ドライマーク衣類専用の洗剤(液体)を使用してください。
 表示のあるものは、中性洗剤(液体)も使用できます。
- 使用量は洗剤の表示に従ってください。
- 液体洗剤以外は使わないでください。

掛けふとん、毛布の洗濯をする



準備 水栓を開け、洗濯物を入れ、お洗濯キャップをセットする

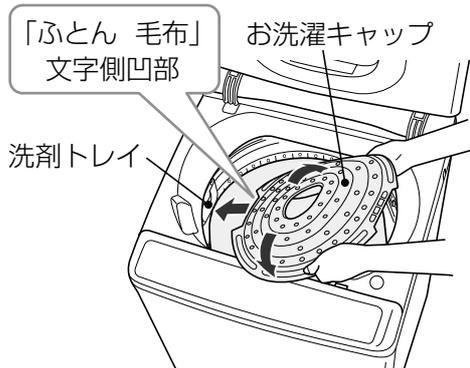
- 1 **切/入** を押し、電源を入れる
- 2 **洗濯** を押し、「ふとん」のランプを点灯させる
- 3 **水量** を押し、水量を設定する
 水量は自動的に一番高い水位になります。
 お好みに合わせて設定できます。
風呂水を使うときは
お湯取 を押し、運転したい行程のランプを点灯させる
- 4 液体洗剤、ソフト仕上剤を入れて、ふたを閉める
- 5 **スタート一時停止** を押し
 ブザーが鳴ったら終了です。



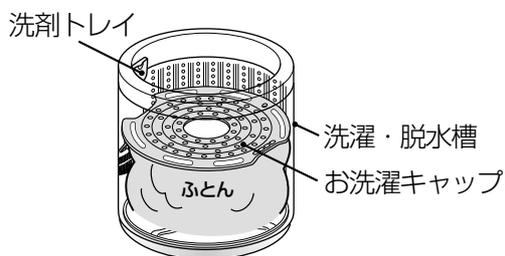
お願い ●掛ふとんのえり口など汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤などの高濃度の洗剤で汚れを落としてください。
 ●吸気窓は閉めてください。

お洗濯キャップの取り付けかた

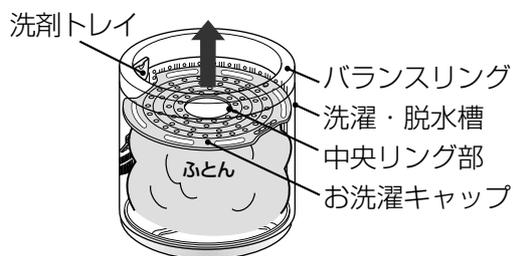
- 1** お洗濯キャップの文字面を上にして、図のように2つ折りに曲げ、「ふとん毛布」文字側凹部を、「洗剤トレイ」側の洗濯・脱水槽の凸部(プラスチック)に合わせる



- 2** 図のように、お洗濯キャップ全体を洗濯・脱水槽の中に入れる



- 3** 中央リング部を持って、バランスリングのすぐ下まで引き上げる



洗濯が終わったら

お洗濯キャップの取り外しかた

- 1** お洗濯キャップの手前側を押し下げる

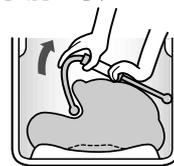


- 2** 中央リング部を図のように持ち、矢印の方向に曲げる



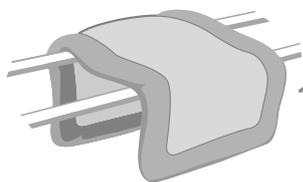
- 3** そのまま手前に引くように、持ち上げる

手前に引き上げる



干しかた

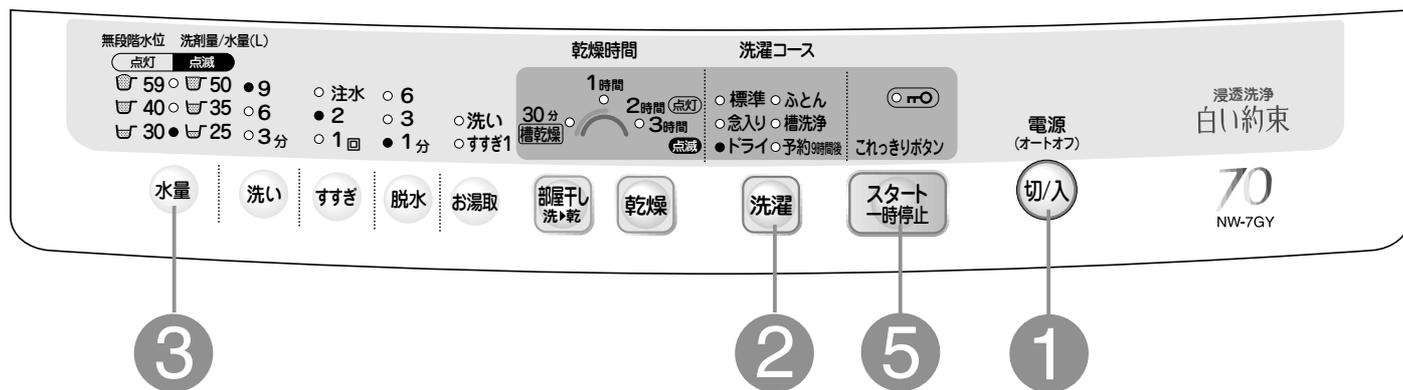
- 風通しのよいところで自然乾燥させます。(掛ふとんの場合は、晴天の日で約4時間かかります)



□形に干すと、乾きが早くなります

- 掛ふとんは時々裏返すと乾燥がより効果的です。また、時々中わたをつまんでほぐすと、ふっくら仕上がります。
- 羽毛の掛ふとんは、中わたの片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。(羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください)
- 毛布は湿っているうちに、ブラシで一方に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。

ドライマーク付き衣類の洗濯をする



準備 水栓を開け、洗濯物を入れ、お洗濯キャップをセットする

1 **切/入** を押し、電源を入れる

2 **洗濯** を押し、「ドライ」のランプを点灯させる

3 **水量** を押し、水量を設定する
 水量は自動的に「30L」になります。選べる水量は「25～35L」です。

4 液体洗剤、ソフト仕上剤を入れて、ふたを閉める

5 **スタート一時停止** を押す
 ブザーが鳴ったら終了です。

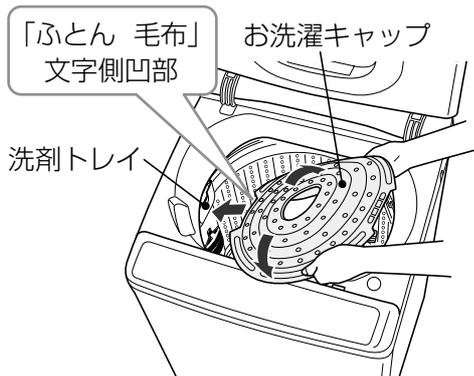


お願い

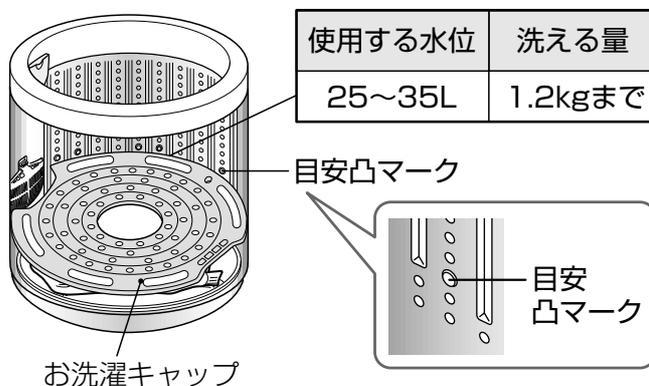
- お湯や風呂の残り湯は使用しないでください。衣類の縮みが大きくなったり、入浴剤の色が移る恐れがありますので、水道水を使用してください。
- 吸気窓は閉めてください。

お洗濯キャップの取り付けかた

- 1** お洗濯キャップの文字面を上にして、図のように2つ折りに曲げ、「ふとん毛布」文字側凹部を、「洗剤トレイ」側の洗濯・脱水槽の凸部(プラスチック)に合わせる



- 2** 図のように、お洗濯キャップ全体を洗濯・脱水槽の中に入れる



ご注意

- 洗濯物はきちんとたたんでから、洗濯・脱水槽に均一に入れて、お洗濯キャップでおさえてください。

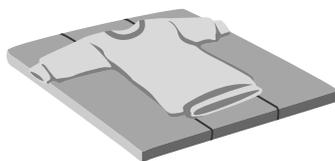
洗濯が終わったら

お洗濯キャップの取り外しかた

取り付けたときと同じように、洗濯・脱水槽の中で2つ折りに曲げて引き出す。

干しかた

- ウール、アンゴラ、カシミアなどのセーターは、形を整えて日陰で平干しにします。
- 風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれが防げます。



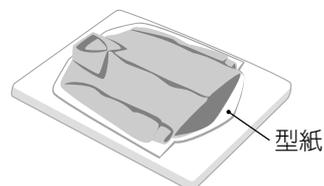
- ブラウスやワンピースは形を整えて日陰でハンガーに干します。

仕上げ(縮み、形くすれの直しかた)

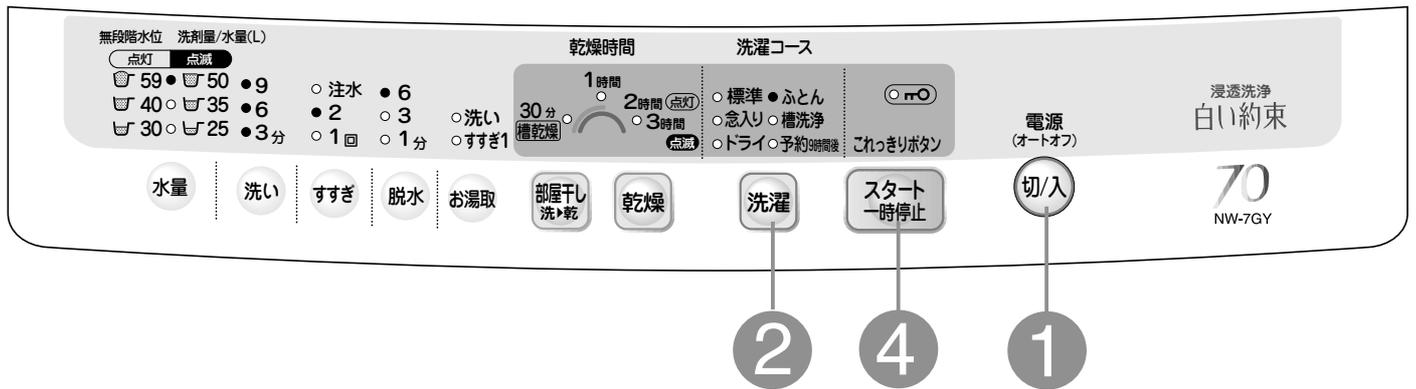
- スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。



- スチームをたっぷりあてたあと、型紙に合わせて元の形までのばし、形を整えます。



まくら、クッションの洗濯をする



準備 水栓を開け、洗濯物を入れ、お洗濯キャップをセットする

1 **切/入** を押し、電源を入れる

※液体洗剤は2倍に薄めてください。

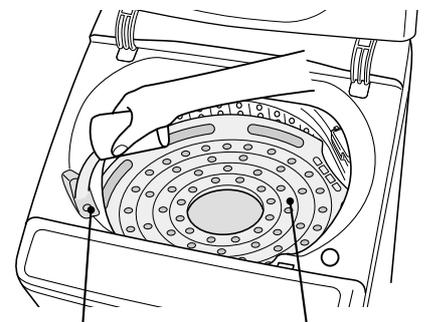
2 **洗濯** を押し、「ふとん」のランプを点灯させる

水量は自動的に一番高い水位になります。

■風呂水を使うときは

お湯取 を押し、運転したい行程のランプを点灯させる

液体洗剤を入れる

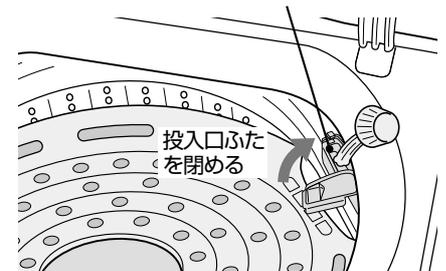


液体洗剤・漂白剤投入口

お洗濯キャップ

ソフト仕上剤を入れる

ソフト仕上剤投入口



投入口ふたを閉める

3 液体洗剤、ソフト仕上剤を入れて、ふたを閉める

4 **スタート一時停止** を押し

ブザーが鳴ったら終了です。

お願い ●汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤を塗布するなどの処置を行ってください。
●吸気窓は閉めてください。

お洗濯キャップの取り付けかたは → P.5

洗濯が終わったら

お洗濯キャップの取り外しかた

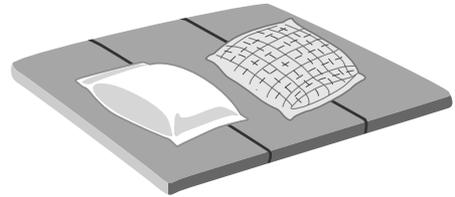
取り付けたときと同じように、洗濯・脱水槽の中で2つ折りに曲げて引き出す。

干しかた

- 形を整え、風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれが防げます。

ご注意

- 衣類乾燥機を使用しないでください。形くすれの恐れがあります。

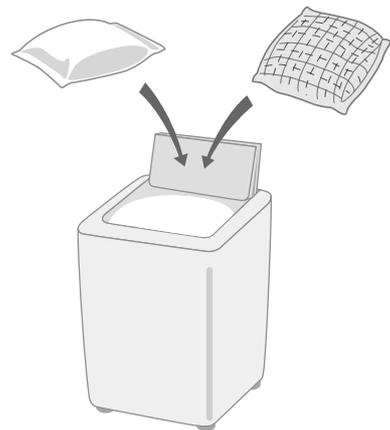


ちょっとアドバイス

脱水をスムーズに行うには、

- 洗濯物を2個以上洗う。
- 洗濯物を1個洗う場合は、脱水時にぬれたバスタオルを2～3枚一緒に入れる。

こうすることにより、洗濯物の片寄りが押さえられます。



洗濯物の確認

次の物は洗濯できません

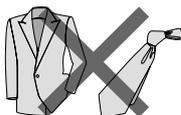
- 皮革毛皮製品
皮革装飾品



- レーヨン、キュプラおよび
その混紡品



- ネクタイ、スーツ、コート



- 絹の衣類



- 装飾品(羽、毛皮など)の
ついた衣類



- 和服、和装小物



- ウールなどで強くよじった糸
(強撚糸)を使用したもの
(特に織り柄)



- コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工
をしたもの

- ベルベットなどのパイル地

- 取扱絵表示、素材表示のないもの

- 防水性製品

- 毛100%の毛布、ロングパイル(毛足10mm
以上)の毛布、カーペットカバー

- 足ふきマット、玄関マットなど厚手の敷物

- マット類やペットの毛が付着した衣類・敷物
など

 **日立アプライアンス株式会社**

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111